

# 令和6年度版 福永辞書

広島県立広島中央特別支援学校  
高等部第2学年 福永 結菜

令和6年度版

福永辞書

福永 結菜 作

「言葉集め」の依頼文には、以下のような記述を付しました。

……  
高等部普通科一年の福永です。私は『分かりやすく伝える』ということを国語の年間目標にしています。授業で福永辞書というものを作成しました。文化祭で初版を発行しました。現在、改訂版に向けて言葉を集めています。レベルアップするために言葉を増やした辞書にしようと考えています。そこで、たくさん言葉を増やすために、皆さんの力をお借りしたいと思いました。中央特支に関連する単語や名詞を挙げてください。もちろん生活の中での言葉でも構いません。国語の時間やホームルームなどで行っていただけるとありがたいです。ご協力よろしく願います。

〈注意点とお願い〉

・場所、物の名前や道具の名前、季節や行事の名前、よく使う言葉でも構いません。できるだけたくさんの方が欲しいです。

・悪口や不快な言葉は使わないようにしてください。明るく楽しくユーモアのある言葉を期待しています。

・言葉の説明部分は、私の方で考えようと思っています。ちょっと考えてみようかなということがありましたら、言葉と説明文を合わせて出してもらってもかまいません。

・辞書への採用・不採用は、検討させていただきます。言葉が重複した場合は、一つにまとめる場合があります。

……  
選定の際には、できるだけ共通で分かる言葉を採用しました。ご協力していただいた、生徒の皆さん、先生方がありがとうございました。

あいばっと【iPad】

タブレットの種類の一つ。設定を変えたりアプリを入れたりすることができ。最初は使い方がわからないかもしれないが慣れてくると使えるようになる。宿題などをデータで提出することができる。

あき【秋】

季節の一つ。紅葉が綺麗で涼しい。最近はこの秋が短く感じる。

あつい【暑い】

気持ちを表す言葉の一つ。運動した時に使うことが多い。本当に暑くなってくる気がするので、あまり何回も言わない方がいい。

あなあけばんち【穴あけパンチ】

紙に穴を開ける道具。点字用紙の場合は少しだけ折って確認すると穴あけパンチに印がある。そこに折り目を合わせて穴を開ける。たくさん枚数を重ねて開ける時は力が必要。

ありがとうございます【ありがとうございます】

礼儀の一つ。相手に感謝の気持ちを伝える上でとても大事なこと。言葉で伝えるだけではなく、礼状を書いて感謝の気持ちを伝えることもある。

いす【椅子】

ものの一つ。生徒の体の大きさに合わせているので、さまざま高さがある。

いやだ【嫌だ】

感情を表す言葉の一つ。何かをしたくない時や反論する時などに使う。しかし、人前ではあまり言わないほうがいい時もある。

うでどけい【腕時計】

腕にはめて時間をあらわすもの。デジタルの時計や手で針を触って時間を確かめるものがある。学校によっては腕時計の持ち込みが禁止されているところもある。

えいご【英語】

教科の一つ。世界の人と関わる上で必要な授業。英語を覚え  
ておくと他の国の人と関わるができる。

おんがくきょうしつ【音楽教室】

三階の一番端にある教室。授業で使う以外にも軽音楽部の活  
動場所になっている。色々な楽器があるので楽器の音を楽し  
むことができる。目の見えにくい人にとって色々な楽器の音  
を聴くのはすごく面白い。

おんせいつきたいまー【音声付きタイマー】

音声のついたタイマーのこと。あと何分か数字が見えない人  
はこのタイマーを使う。視覚障害のある人にとってとても便  
利。

かーてん【カーテン】

家や学校にあるもの。光を遮ったり空気を逃がさないように  
したりすることができる。

かいせい【快晴】

雲がない空のこと。晴れの中でも一番いい天気。夏は日の光  
が隠れないのでとても暑い。春と秋はとても気持ちがいい。

かいだん【階段】

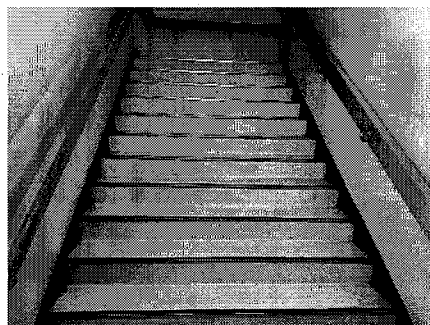
他の階に上がったたり降りたりするための  
もの。北校舎、東校舎、南校舎にそれ  
ぞれ階段がある。そのほかにも体育館  
の前にも階段がある。段差のところに  
赤い線が引いてある。

かくぎじょう【格技場】

真ん中あたりに畳がある。サウンドテーブルテニスをした  
り、畳の上で柔道をしたりする。体育館が使えない時などに  
格技場を使う。体育館より少し狭く感じる。

かんしゃ【感謝】

みんながすること。礼儀。感謝したりされることでやりがい  
を感じる。相手に感謝の気持ちを伝えることはとても大事。



きしゆくしや【寄宿舎】

生徒が泊まる場所。学校から家までの距離が遠い生徒が寄宿舎で生活する。金曜日は家に帰って月曜日からまた寄宿舎で過ごす。

きゆうぎたいかい【球技大会】

バレーボールやバスケットボールなどのボールを使ったスポーツの大会。中央特支では、フロアバレーやゴールボールで行う。どの競技も目隠しをして行う。ずっとしやがんだり立ったりを繰り返すから足が疲れるが達成感がある。

きゆうしよく【給食】

学校で食べる昼ご飯のこと。姉妹都市献立や行事に合わせた献立が出る。毎日の給食が楽しみになる。

ぎゆうにゆう【牛乳】

この学校の給食で毎日出る飲み物。今は出ていないが前まではコーヒー牛乳が出ていた。飲み物だけではなく料理などにも使う。

きようかしよ【教科書】

授業で使うもの。忘れると焦る。教科書、ノート、ファイルの三つは絶対に忘れない。

きようしつ【教室】

学校で授業を行う場所。私たちの学校はクラスの数が多いので教室の中がとても広く感じる。しかし、その分ロッカーや棚などの使える場所が増える。生徒の人数が一人だと先生と二人なので最初は緊張する。

くりすます【クリスマス】

行事の一つ。十二月二十五日にある。チキンやケーキを食べたりプレゼントをもらったりする。プレゼントをもらうのがとても楽しみになる。

ぐらうんど【グラウンド】

学校の中にあるところ。体育の授業や部活動などで使う。冬にグラウンドに出て運動すると体が温かくなる。



こうずい【洪水】

川の水が流れ込むこと。この学校近くの太田川が氾濫すると戸坂小学校以外は川の水に流されるので避難場所は戸坂小学校に避難する。

けいおんがくぶ【軽音楽部】

学校の部活動の一つ。毎週水曜日があり、ライブや文化祭に向けて練習を行う。ライブや文化祭が近い時は、水曜日以外の日に個人練習の日もある。

げたばこ【下駄箱】

靴を入れるところ。学部ごとに入れる場所が違う。正面玄関から入って左から、幼稚部・小学部、真ん中が高等部、右端に中学部の下駄箱がある。

こうちようしつ【校長室】

校長先生がいる部屋。北校舎の一階にある。生徒はあまり行くことがない。

こえ【声】

音の一つ。高い声や低い声、落ち着いた声などがある。廊下で話している人の声に、聞き耳を立てる時がある。

ごーるでんういーく【ゴールデンウィーク】

毎年五月にある連休。五日間から六日間の連休がある。三日間は祝日が続く。旅行にも行けるのでとても楽しみになる。

ごーるぼーる【ゴールボール】

球技の一つ。六人で試合を行う。場所を広く使って行う。ゴールボールで使うボールは手よりも大きい。ボールは勢いがあるので突き指しやすい。体全体を動かして取るので体も怪我しやすい。素早く取るよう意識する必要がある。

こくご【国語】

教科の一つ。人と関わる上で必要な授業。文をわかりやすく書くときや言葉で伝える時などに習ったことを活かすことができる。

こくばん【黒板】

教室にあるもの。授業の時に使う。生徒の発言や問題などを書く。黒板ではなくホワイトボードの学校もある。

こくばんけし【黒板消し】

黒板の文字を消すもの。黒板消しを使うとチョークですぐに汚れるので、使った後は黒板消しクリーナーで黒板消しを掃除する。

こくばんけしくりーなー【黒板消しクリーナー】

黒板消しについたチョークを取る機械のこと。チョークの粉を吸ってくれる。黒板を消した後にすぐに使えるのでとても便利。

ここいます【ここにいます】

相手に自分の位置を伝える時に使う。相手がどの位置にいるかがわかる。

こつちよー【こつちよー】

相手を呼ぶときに使う。相手はどこにいるかがわかる。

こどものひ【子どもの日】

行事の一つ。毎年五月五日にある。男の子の成長を願う。子供達に大きくなってほしいなと思う。

ごはん【ご飯】

食べ物の一つ。だいたいお米のことをさす。この学校の給食では週四日ご飯がでる。ご飯には玄米ご飯やふりかけご飯などがある。みんなで食べるとご飯がとても美味しい。

さいふ【財布】

お金を入れるもの。買い物をするときなどに使う。お札とお金を分けて入れることができる。財布がなくならないように管理しておかなければならない。

さうんどてーぶるてにす【サウンドテーブルテニス】

球技の一つ。目隠しをしてボールがネットの下を通るようにして打つ。どうしても打つときにラケットが傾いていて気づかずに打つ場合があるため難しい。



さつまいも【さつまいも】

秋にとれる野菜。十月ごろに取れる。色々な種類がある。採った後しばらく置いておくと食べる時、甘みが出る。

さむい【寒い】

冬によく使う言葉。お風呂で体が温まっていない時にも使う。夏でも汗をかいて体が冷えた時にもいう。

さわる【触る】

動作のこと。ものの位置を触って確認する。授業の時も図形や点字を触って読む。

ざつだん【雑談】

人と話すこと。授業に関係のない話。雑談をする先生もいる。

じしゃく【磁石】

金属に付くもの。黒板にもつけることができる。黒板に紙を貼るときも磁石で貼ることができ、磁石で紙を貼ると剥がれにくい。

しぜん【自然】

綺麗な川や森、海などのこと。自然の中の川や森、海は綺麗な色をしている。自然は壊してはいけない。

しちようかくきようしつ【視聴覚教室】

パソコンが並んでいる教室。授業で使い、他にもパソコン部の活動場所にもなっている。パソコンで書いたものは印刷することもできる。

しゆくだい【宿題】

家での課題のこと。高等部になると自分で課題を見つけて、それに向けて取り組む。

しょうがいしゃてちよう【障害者手帳】

障害のある人が持っているもの。障害があることを他の人に伝えることができる。手帳を提示すると公共の施設や交通機関などでお金が割引になる。自分から支援を依頼することが必要。

しょうがつ【正月】

行事の一つ。年が始まる一番最初の日。おせちやお餅を食べる。初詣に行ったり家族が集まって一緒に過ごしたりすることが多い。正月になると同時に冬休みが半分終わったという気持ちがちらつく。

じょうぎ【定規】

点字を打つときに使うもの。点字用紙にじょうぎを挟んで打つ。じょうぎと点筆は尻系でつないで使う。線を引くためのじょうぎとは別である。

しょくいんしつ【職員室】

先生がいる教室。職員室に入る時はとても緊張する。

じんせい【人生】

人がこの世で生きていくこと。生まれてから亡くなるまでのこと。人の命は大切。

すいとう【水筒】

飲み物を入れるもの。ものによっては魔法瓶もある。今は少ないが水筒には蓋をコップにして飲むものもある。

すうがく【数学】

教科の一つ。生活する上で必要な授業。買い物をする時のお金の計算など、授業で習ったことを活かすことができる。

ずこうきょうしつ【図工教室】

南校舎の一階にある教室。色々な道具が置いてあり陶芸の授業で使う。きちんと整理されているので物を取る時もすぐに取れる。

すろーぷ【スロープ】

坂道のこと。この学校にもスロープがある。車椅子の人が移動できるようにになっている。体育館の前にもスロープがある。

すぽーつぶ【スポーツ部】

学校の部活動の一つ。フロアバレーやサウンドテーブルテニスなどがある。球技大会に向けた練習などを行う。本番前には放課後、部活動以外でも練習を行う。

すまーとふぉん【スマートフォン】

手のひらサイズの携帯電話。気軽に家族などに連絡できる。連絡手段として電話やラインなどがある。調べ物にも使うことができる。今は小学生から持っている人もいる。

せいとかい【生徒会】

中学部や高等部の生徒が中心となって学部を引っ張っている。生徒会には中学部は会長と副会長があり高等部には書記会計もある。

せいとかいちよう【生徒会長】

生徒会を引っ張っていく人。三年生が会長になることが多い。二年生も会長になることができる。

せいふく【制服】

学校で指定されている服のこと。私たちの学校は、小学部までは私服、高等部までが制服になっている。理療科になると私服に戻る。

せろてーぷ【セロテープ】

セロハンテープとも言う。マスキングテープとは違い、厚みがある。色はついていない。様々なものを貼ることができる。とても便利。

せんせい【先生】

授業をする人のこと。教師ともいう。先生には敬語を使った方がいい。

そつぎよう【卒業】

学部や学校から出ること。教育課程によって理療科や大学に進学する人と高等部を卒業後そのまま就職する人もいる。卒業する人は毎年十人以上いる。

そろばん【そろばん】

計算する時に使うもの。一の位に印がある。珠算検定の時や授業の時に使う。そろばんは計算の仕方を覚えるのが難しい。珠算検定や授業の問題が難しくなってもすぐに計算できるようになる。

たいりよくそくてい【体力測定】

自分の体力を確かめるテストのようなもの。毎年四月に体育の授業で行う。全部で八種目あり、何日かに分けて行う。

たつくペーパー【タックペーパー】

ファイルや墨字の上に貼り、点字でも読めるシールのようなもの。点字用紙とは違い、少し打ちにくくなる。透明なので目立ちにくい。ものに貼れるので確認しやすくなる。

たべる【食べる】

動作の一つ。一日に三回食事をする方が体にいい。季節の食材を楽しむことができる。

たんがんきょう【単眼鏡】

遠くのを確認するときを使うもの。黒板の文字を見るときなどに単眼鏡を使う人もいる。

ちちのひ【父の日】

父親に今までの感謝を伝えること。感謝と同時に「これからもよろしく。」と伝える。プレゼントを渡すと喜ばれる。

ちやいむ【チャイム】

時間になると知らせしてくれるもの。中央特支では、幼稚部から高等部まで一緒なので、チャイムの鳴る時間が違う。中学部や高等部の授業中にチャイムがなる。そのおかげであと何分で始まるか、何分で終わるかがわかる。

ちゅうおうろうか【中央廊下】

東校舎と南校舎の間にある廊下。掲示板には生徒の作品が展示されている。作品と一緒にコメントシートも貼られているのでどんな作品が見えない人でもすぐに分かる。

つかれた【疲れた】

気持ちを表す言葉の一つ。一週間が終わった時に使うことが多い。使わない方がいい時もある。

つくえ【机】

もの一つ。生徒の机は体の大きさに合った机がある。机には斜面机もある。

### つゆ【梅雨】

雨が降る季節。植物が成長する時期でもある。片手に傘を持って、もう片方の手に白杖を持って歩くので両方手が塞がる。

### てすと【テスト】

小学部から行うもの。授業の内容がわかっているかを確認する。小学部はテストというが中学部からは試験という。試験になるとテストより時間が長くなる。

### てすり【手すり】

階段などにある支えになるもの。広島中央特支では、今どの階にいるかがわかるように手すりに線がある。一階は一本、二階なら二本というように階を上がるごとに溝が掘られていく。触ってわかるようになっていく。



### てびき【手引き】

肘を持って歩くこと。目の見えにくい人は手引きで歩くことでそばで歩いている人が止まったり階段を降りたりしていることがすぐにわかる。手を繋いで歩くよりもわかりやすい。

### てれびきょうしつ【テレビ教室】

教室の一つ。テレビが置いてあり、授業の時に使う。しかし、教室に入る機会があまりない。

### ちよーく【チョーク】

黒板に文字を書くもの。オレンジ色や紫色などもある。黄色は黒板消して消す時に時間がかかる。生徒の発言と文章に色を分けて書けるのでとても使いやすい。

### てんじ【点字】

目の見えにくい人が読んだり書いたりする字。手で触れるようになっている。触るとざらざらしている。点字で新聞を読んで情報を得ている。書く時は右から左、読む時は左から右に読む。書いたあとは用紙を裏返して読む。

てんじきようかしよ【点字教科書】

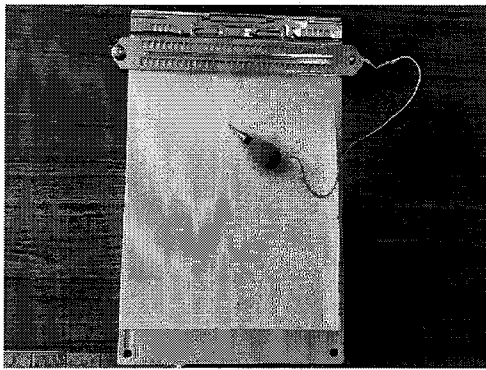
点字使用者が授業で使うもの。普通の教科書とは違い、厚みがある。ページ数も多く墨字の教科書一冊は点字にすればもっと多くなる。

てんじきようぎかい【点字競技会】

盲学校で毎年行われている点字の競技会のこと。目打ちや速読は学校独自で行われているが、五十音、転写、聴写は全国の盲学校で行っている。点字使用者がどれだけ速く、正確に打ったり読んだりするかを競う。今は墨字競技会もある。

てんじばん【点字盤】

点字を打つときに使うもの。紙押さえがついていて、そこに点字用紙を挟んで使う。定規を挟んで点筆で打つ。



てんじぶろっく【点字ブロック】

目の見えにくい人が歩くとき、道が分かりやすいように設置されているもの。見えにくい人が足で確認できるようにになっている。点字ブロックがあるところ、どこが横断歩道か、どこで曲がるかなどが分かる。

てんじようし【点字用紙】

点字を打ったり読んだりする紙。少し厚みがある。白色や緑色もある。

でんしこくばん【電子黒板】

テレビのようなもの。画面を見たり音を聞いたりするだけではなく画面にペンで文字を書いたりそれを保存したりすることもできる。

てんぴつ【点筆】

点字を打つときに使う道具。先が尖っていてじょうぎに開いている穴に点筆を入れて打つ。先が曲がらないように打たないといけないので、少し難しい。

といれ【トイレ】

場所の一つ。男子トイレと女子トイレに分かれている。この学校には各階にトイレがある。

とおりまーす【通りまーす】

学校内でよく使っている言葉。食堂の中や廊下にいる時に使う。どこを誰が通るかがわかる。

としよしつ【図書室】

学校の二階にある教室。点字の本や墨字の本が並んでいる。弱視の人も読めるように墨字の本が置いてある。主に二階の図書室を使う人が多いが一階や三階にもそれぞれ図書室がある。一階は絵本図書室、三階は理療科の人が読むための本が置いてある。

どしやさいがい【土砂災害】

山が崩れること。山にあった土や木などが流れ込む。この学校の場合は、土砂災害から避難するときは戸坂小学校に避難する。

なつ【夏】

季節の一つ。気温は高いが草などの緑が綺麗な季節。太陽の光はとても眩しい。蝉の音が窓を閉めていてもよく聞こえる。夏休みがあるので楽しみになる。

にゆうがく【入学】

新しく学校や学部に入ること。最近はこの学校に入学する人が少なくなっている。小学部が一番少ない。もっと入ってきてほしいなと思う。

ねむい【眠い】

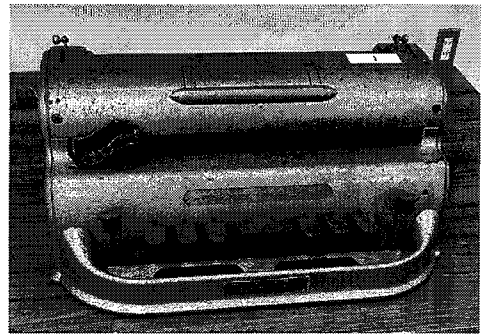
気持ちを表す言葉の一つ。しっかり眠れなかった時に使う。ご飯を食べた後に眠たくなる。

のーと【ノート】

文字を書くもの。点字の人のノートは点字用紙のこと。授業ではこれが必要。

ばーきんす【パーキンス】

点字を打つ機械。点字用紙を中に入れて打つ。点字競技会でパーキンスを使うときは目うちの時だけ打たず、五十音から参加する。



はい【はい】

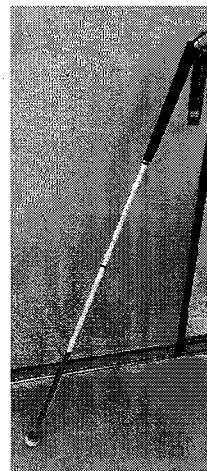
相手に反応する時の言葉。相手に返事するときや、ものを渡すときに使う。遠くの人に返事する場合は「はいい。」になる時がある。「はいはい。」と言うと「はいは一回!」と注意される。

はしる【走る】

動作のこと。体育の授業だけではなく急いでいる時にも走る。走るといい運動になる。

はくじょう【白杖】

視覚障害者が道を歩くときに使うもの。タッチテクニックという方法やスライドさせる方法などがある。持ち手があり先にいくと石突というものがある。それを地面に叩きついたりスライドさせる。持ち手は黒いゴムで少し凹んだところに人差し指を置く。



はる【春】

季節の一つ。とても暖かく気持ちのいい時期。寒い日もあ

はるやすみ【春休み】

長期休みの一つ。休みの日は、景色を見ながらいろいろなところに出かけられるので楽しみになる。



### ばそこんぶ【パソコン部】

学校の部活動の一つ。毎週水曜日の放課後にある。タイピング練習をしてパソコンに慣れる。しかし、堅苦しくないから楽しめる。

### ははのひ【母の日】

母親に今までの感謝を伝えること。感謝を伝えると共に「これからもよろしく。」と伝える。プレゼントとしてはカーネーションを渡すことが多い。

### はろういん【ハロウィン】

行事の一つ。十月三十一日。この時期はお店にかぼちゃを使った食べ物が増える。

### はんかち【ハンカチ】

小さいタオル。主に手を拭く時に使う。様々な大きさがあ  
る。自分の手の大きさに合ったハンカチを持っていくと手を  
拭く時に使いやすい。

### ぱん【パン】

給食で毎週木曜日に出る。毎週色々なパンが出る。ココアパンや、パンに蜂蜜とマーガリンをかけて食べる。木曜日はどんなパンが出るか楽しみにする。

### ばなな【バナナ】

果物の一つ。バナナは身の部分が白い。熟れているバナナは身の部分が茶色くなっている。

### ひなまつり【ひな祭り】

女の子のお祝いの日。女の子の健やかな成長を願う。桃の節句とも言われる。

### ふあいりんぐ【ファイリング】

点字用紙をファイルに挟むこと。点字用紙に穴を開けてファイルに挟む。ファイリングする時はリングファイルが簡単。

### ふあいる【ファイル】

紙を挟んでおくもの。教科によってファイルが違う。点字の人は背表紙に点字を書いたタッグペーパーを貼る。授業があるときにすぐに出せるようにする。

ぶつりきょうしつ【物理教室】

三階にある教室。高等部が理科の授業で使う。卒業生が作った人体模型などが置いてある。

ふゆ【冬】

季節の一つ。気温は低いですが雪が降った後の景色が綺麗な季節。雪が積もることは少ないが、積もると少しテンションが上がる。寒さで手が冷たいと点字を打つ時に力が入りにくい。

ぶらいんどさっかー【ブラインドサッカー】

球技の一つ。目隠しをして行うサッカー。ブラインドサッカーのキッズキャンプや経験がない人でもできる体験会がある。

ぷれいるーむ【プレイルーム】

学校のみんが使う場所。小学部、中学部、高等部のプレイルームがある。各学部で集会を行う場合がある。高等部のプレイルームは部活動の場所にもなっている。

ふろあばれー【フロアバレー】

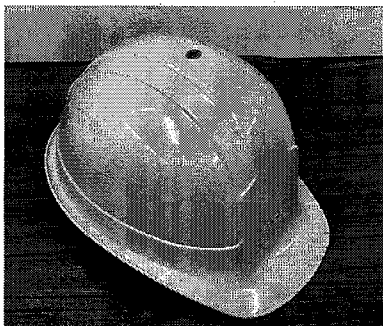
球技の一つ。中央特支の体育では、毎年二学期の十一月頃行っている。前衛と後衛で六人のチームを作り、十二人で試合を行う。指をけがしやすいので軍手をつけて行う場合がある。

ぶんかさい【文化祭】

学校行事の一つ。毎年十月下旬から十一月上旬までのどこかで行う。様々な発表や販売などを行う。他学部が何を発表するのがとても楽しみになる。

へるめつと【ヘルメット】

自分の身を守るために頭につけるもの。災害が起こった時などに使う。それぞれのクラスや授業がある教室に置いてある。



べんろんたいかい【弁論大会】

全国の盲学校で毎年行われている大会。中学部から弁論大会に参加する。学部で一位と二位が決まれば、校内弁論大会に出場できる。さらに優勝を重ねれば中国・四国地区や全国の弁論大会にも出場できる。

ぼいすおーばー【ボイスオーバー】

アイパッドの読み上げ機能のこと。この音声を頼りにアイパッドを操作する。携帯にも音声機能がついているものがある。

ほこうしどう【歩行指導】

一人で歩けるように指導してもらうこと。歩行指導の先生は生徒が一人で登下校ができるようになるまで指導を続ける。歩行指導をする先生は変わることがある。小学生から始める人もいる。

ますきんぐてーぷ【マスキングテープ】

テープが薄くなったもの。色がついている。模様がついているものもある。目印にも使えるのでとても便利。

みかん【みかん】

果物の一つ。この学校の給食では、夏に冷凍みかんが出る。色の青いみかんは酸味がある。

ものさし【ものさし】

長さを測るもの。三十センチものさしやメートルものさしがある。数学の授業などで使う。

もみじまんじゅう【もみじ饅頭】

広島で有名なスイーツ。もみじ饅頭にはクリームや栗、芋などの様々な味がある。もみじまんじゅうは特にお土産で人気がある。

るーぺ【ルーペ】

文字や図を大きく見せるもの。これを使うと文字などがはっきりと見える。教科書を読んだり、ノートの字を確認したりする。

ろっかー【ロッカー】  
教室にあるもの。荷物を入れたり体操服を入れたりすることが出来る。一人の教室はロッカーが広く使える。



わたりまーす【渡りまーす】  
廊下の壁から向こうの壁に渡る時などに使う。突き当たりの壁に誰かいないか確認する時や自分が通ることを伝えるためでもある。

### 福永辞書

初版発行 令和五年十一月十一日

改訂版第一版発行 令和六年十一月一日

発行者 広島中央特別支援学校

作成者 福永結菜

担当編集者 村谷結花(国語科)

点訳協力 中川紀美子(外国語科)

## <指導者の言葉>

入学当初に国語の目標を生徒自身が「分かりやすく伝える。」と設定しました。目標に対して、昨年度から継続して行っている取組による作品です。毎時間、初めの10分を辞書作成に当て、1年間通して作成しました。

1年目は、11月の文化祭展示に向け、

- ①言葉集め
- ②意味作成
- ③推敲
- ④製本 の順に作成しました。展示後、第2版を作成するにあたって、言葉を増やすために、依頼書を作成し、他の生徒に依頼しました。

今年度はそれを踏まえて、昨年度同様の流れで作成しました。

作成する際には以下の3点に留意して文章を考えるように伝えました。

- ①知らない人が読んだときに分かる文章にする。
- ②「事実」と「意見」を見極める。
- ③読んだ人が共感したり、クスツと笑ったりできるようにする。

普段当たり前のように使っている言葉も、いざ人に説明しようと思うとうまく文章にできなかったり、知らない人が読んでも分かるような説明にすることが難しかったりし、何度も推敲を重ねました。

言葉の意味を作成する際には、点字使用者である生徒の思う「定規」(点字器)と一般的なものの長さを測る「定規」の違いに気付くことができました。一般的な言葉や物の説明とは一味違った、見えにくい中で過ごしてきた生徒の説明や考え方を知ることができる作品です。